

河内神社報

発行所:〒731-5151広島市
佐伯区五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社社務所

平成・令和を繋ぐ上半期の災い・禍事・罪・過ちのお祓い

夏越神事

にお参り
ください

7月
7日(日)

夏祭り
夏越神事

午後2時

宮司 山田 茂雄

神社前庭にて、『夏越大祓』と『茅の輪くぐり』を行い、上半期の災い・禍事・犯してしまった過ちを祓い清めます。人形を持参して、お参りください。

次に拝殿にて、下半期、我々の生活に大きな災いがないように神様のご加護を願い、『夏祭り』を行います。どなたもご参列・参加いただけます。ともに下半期の無病息災を祈りましょう。

夏越大祓 罪穢れのお祓い

皆様の人形をご神前に納め、参列者全員で大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻(麻と和紙の薄片)を撒いて自身を祓い清めます。祓い清めの後に、お焚き上げをして、人形に移した罪や穢れを火の力で祓い除けます。

茅輪神事 無病息災の神事

茅の輪は「備後国風土記」に



登場します。貧しいながらも蘇民将来は、武塔の神(素戔鳴尊)に一夜の宿を貸してもてなします。そのお礼に武塔の神は、「蘇民将来の子孫と言つて、茅の輪を腰に付けた人は疫病に罹らない」と言われました。この話に登場する素戔鳴尊は河内神社の御祭神です。神職が先導し、茅萱でできた茅の輪を8の字を描くように3回くぐり、「水無月の夏越しの祓えする人は千歳の命延ぶというなり」と唱え、祓い清めて無病息災を祈る伝統神事です。茅の輪は、7月5日〜7月15日まで河内神社の境内に設置してあります。お参りの作法は、茅の輪に表示してあります。

夏祭り

お初穂を供えて
安寧を祈る

夏越神事後、参拝の皆様と拝殿に昇殿し、夏の暑さに負けず健康で家庭平穏に過ごせるよう、また、風水害や害虫などの災害が起こらないよう、氏子の皆様から奉獻されたお初穂を、神様にお供えしてお参りをいたします。



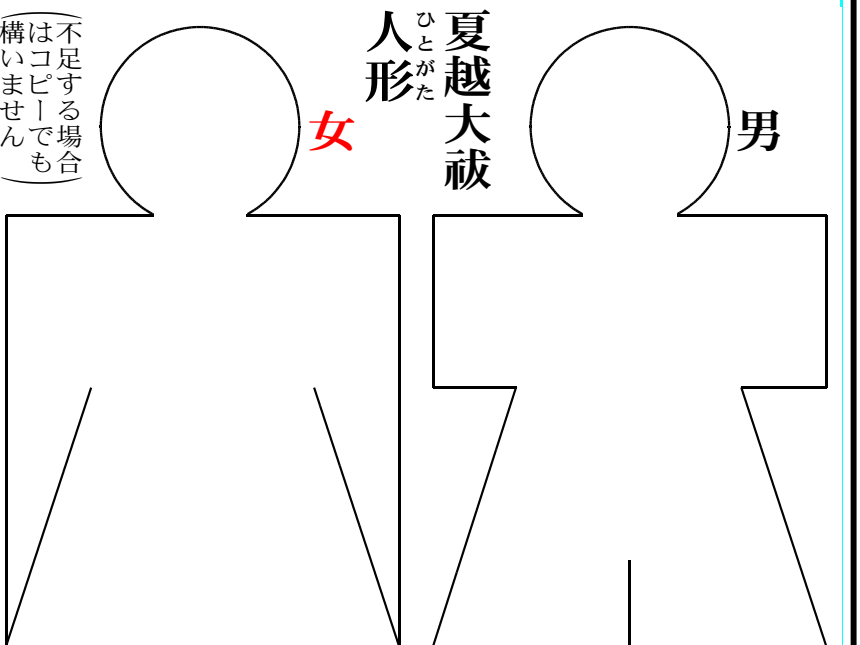
河内神社へのアクセス(周辺図)

幸せつながる
各種御守・御札
(神棚)頒布中。
御朱印も受付。

必勝祈願 旅行安全
心身安穩 良縁結び
河内神社限定の御守
500円

人形は、事前に地区の氏子総代さんを通じて各家へ配つて頂きます。総代さんが不在の地区(藤の木、河内南、遥花など)の方は、本紙の人形を切り抜いてご使用ください。

夏越大祓 人形



人形の使い方

一人ごとに、①氏名・年齢を記入して、②体をさすり、③息を吹きかけて身に付いた半年間の罪や穢れを移し、④神社へ当日ご持参ください。(当日に参加できない方は、事前に人形をご持参ください。ほかの方に託されても結構です。人形は当日まで社頭にも用意があります。)

幸せつながる河内神社↓

御守

御札

夏の御守

— ちのわ —

御守の中央は、平安時代より前の長岡京時代の最古の蘇民将来札です。小さな茅の輪とともに災難除け、健康の御守とします。平安末期の歌にもあるように夏越大祓は長寿の神事と信じられています。河内神社限定の御守には携行しやすい茅の輪が入っています。茅之輪御守500円。河内神社で夏の期間限定頒布。



河内神社報

発行所:河内神社社務所
http://kochijinja.org

(特別面)

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘の氏神様)

河内百年遷宮事業奉賛会が発足

河内神社は、5年後の令和5年に合祀100年(旧各村の神社を今の河内神社に合併)を迎えます。

明治40年(1907)、国の政策により村社八幡神社(上河内中郷)、佐古神社(上河内下城)、客人神社(上河内魚切)、日吉神社(下河内「河内南含む」、新宮神社三社(下河内白川・上小深川・下小深川)、大宮神社(上小深川野登呂「藤の木含む」)の8社を合祀し、河内神社としました。

合祀に併せて村民の浄財を募り、17年掛けて今の河内神社の姿に整備し、大正13年(1924)に竣工しました。



合祀当時の河内神社の拝殿前での村民の竣工記念の集合写真

爾来、河内地域(河内・藤の木・河内南)の氏神様、産土神として氏子住民の敬神生活の営みに守られてきました。その間、時の流れ、世代の移り変わりの中で風雪、風雨に耐えてきましたが、本殿・拝殿・境内地各所の腐朽破損が顕著に表れてきました。また、参拝者の中には高齢のため石段を上がることの出来ない人たちも出始めてきました。この様な現状の中「河内神社百年遷宮事業奉賛会」が結成され、地域の歴史を語る神社を今後の100年へとつなぎ、

次世代に残して敬神崇祖の誠を護持すべく、改修事業計画が策定されました。施工は令和元年から5年までの5か年の計画での実施予定となっております。

事業概要

本殿屋根葺替え、文化財的保存修理	1千 万円
境内への車道整備・拡幅、駐車場増設	4千5百 万円
社務所兼授与所・エレベーターの建設	6千2百 万円

この百年遷宮事業は、河内神社合祀以来の大事業であり、多くの費用が必要となります。昨今の厳しい経済環境の折、誠に恐縮ではありますが、事業の主旨をご理解いただき、格別の協賛、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。なお、奉賛に当たりまして、ご芳名をご神殿に奉納し、芳名版・玉垣等に刻み、功績を讃え後世に残して参ります。

神社豆知識

「遷宮・せんぐう」とは

伊勢神宮の20年ごとの式年遷宮は有名です。遷宮とは、神様に住まいをお遷りいただき、建替えや修理を行うことをいいます。神様により強い力を発揮いただくため最長100年に一度、大規模な境内整備をします。



河内神社の大正6年(1917)玉垣

河内神社のこよみ(令和元年下半年)

7月7日(日)午後2時

夏祭・夏越神事

茅の輪くぐりなど1頁に詳細。

7月21日(日)午後2時

祇園祭

素盞鳴命が御旅所(権現さん)に御神幸します。前夜は下河内集会所で神樂があります。



10月12日(土)午後6時半

秋祭前夜祭

地元、上河内神楽団の神樂奉納・花火奉納があります。



10月13日(日)午後2時

秋祭例大祭

豊かな実りに感謝し、ご加護を祈る大事なお祭りです。



8月14日(水)午後7時半

献灯祭

盆踊りの夜、提灯で、先祖の御霊を迎えてお祭ります。



11月15日前後
七五三祭

男子3歳・5歳、
女子3歳・7歳の年には氏神様に七五三詣をします。お子様の無事な成長を報告し、幸福と健康を祈ります。10月中旬〜11月頃まで受付。



12月8日(日)午後2時
新嘗祭(大祭)

今年収穫した新米や作物、お初穂を供え、神様の恩に感謝し、今後のご加護を祈ります。

12月31日(火)午後6時
除夜祭(大祓)

一年締め括りの大祓式です。

日供祭(毎日)・月次祭(毎月1日・15日)では、日々の安泰をお祈りします。境内清掃後、午前7時半より行います。ぜひご参拝ください。

地域のご祈願は河内神社で

地元を守護する「幸せスポット」

初宮参り・地鎮祭など、幸せつながる河内神社のご祈願について、内容、日時など不明なことは電話等でご相談ください。
〔神社で祈願〕 河内神社社務所 (082)928-2283

安産祈願
合格祈願
就職祈願
厄祓い
良縁成就
七五三祭
車祓い
安全祈願
商売繁盛など

〔現地で祈願〕

地鎮祭(新築)

家祓い(入居)

神棚祭

井戸祓い

安全祈願

開店祭

上棟祭など

裏面人形
切抜き紙

